



松戸市少年軟式野球連盟
50周年



ぼくたちはグラウンドで、仲間と全力でプレーしています。
勝ってうれしい時もあれば、負けて悔しい時もある、毎日いろんな気持ちを経験しています。ここは、ただ野球をする場所じゃなくて、努力や仲間を大切にすることを学ぶ、ぼくたちにとって大事な場所です。
野球を通して、礼儀や礼節、挑戦する勇気を身につけ、それが松戸の子どもたちの文化として未来につながると信じています。
これからも、たくさん子どもたちがこのグラウンドで夢をふくらませることができ、野球が続けられる環境を守ってもらえたら、うれしいです。

松戸市長 松戸 隆政

誇りを胸に

このたび、松戸市少年軟式野球連盟が創立50周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

これまで長年にわたり、少年野球の普及・振興を通じて、青少年の健全育成と地域のスポーツ文化づくりに多大なる貢献をされてきたことに、感謝を申し上げます。

加盟チームの各大会での輝かしい成績、親子で楽しむ「友遊ボール」などの多彩な活動、さらには被災地支援をはじめとする社会貢献活動は、まさに地域の誇りであります。

これもひとえに、上野会長をはじめ歴代の会長並びに会員皆さまの情熱の賜であり、深く敬意を表します。

今後とも、貴連盟の皆様が培われた経験と情熱を礎に、ますますのご発展を祈念するとともに、本市のスポーツ振興、地域活性化へのご尽力をお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。



松戸市教育長 波田 寿一

未来への期待

松戸市少年軟式野球連盟、創立50周年、誠におめでとうございます。

長きにわたり、松戸市の子どもたちに夢と希望を与えていただきましたことに、心より敬意を表します。

また、これまで子どもたちを導いてくださいました連盟役員の皆様、各チームの監督・コーチ・チーム関係者の皆様、子どもたちを応援し支えてくださったご家族の皆様には、心より感謝の言葉を申し上げたく思います。皆様、本当にありがとうございました。今後も引き続き子どもたちをお見守りください。

さて、選手の皆さん、仲間と支え合い努力を重ねた時間は、何よりも大きな財産です。

日々の練習に取り組むその姿勢は、生涯にわたって必ず皆さんの力となります。これからも、野球を通じ、技術を磨き、思いやりや礼儀を大切にしながら、自分自身を高める気持ちを持ち続けてください。皆さんの一つ一つのプレーが、松戸の未来を明るくしてくれることを願っています。



松戸市少年軟式野球連盟 会長
上野 公也

感謝を込めて

松戸市少年軟式野球連盟は1975年9月に発足し、地域の子どもたちを見守りながら50周年を迎えました。

半世紀にわたる歩みは、子どもたちの健全な育成と、野球を通じて礼節・感謝・友情の精神を育ててきた歴史であり、これは歴代会長・役員の皆様、指導者・保護者の方々、行政関係者、そして近隣地域の他市連盟の皆様による多大なご支援の賜物です。

この50年間、数え切れないほどの選手たちがグラウンドで汗を流し、仲間と励まし合い、勝敗を超えた貴重な経験を積んできました。その一人ひとりの笑顔と成長こそが、私たちの誇りであり、連盟の歴史そのものです。

これからも、野球を愛するすべての子どもたちが夢と希望を持ってプレーできる環境づくりに努めてまいります。そして、この伝統と情熱を次の世代へと引き継ぐことをお誓い申し上げます。最後に、これまで当連盟の活動を支えてくださった皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後ますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます。



年中夢球 本間 一平

前を向く力

松戸市で野球に励む子どもたちを支えてくださる皆様へ。

私は、野球を通じて生きる力を育んでほしいと願っています。

野球は技術だけでなく、礼儀や礼節、感謝の心を学ぶ場でもあります。

ある子が、グローブを磨かずに使っていた時、私は「水筒をピカピカに磨いてきて」と伝えました。

翌日、その子は新品のような水筒を持ち、「こんなに大変だとは思わなかった」と気づきました。そこから親や指導者の努力に思いを馳せ、感謝の心が育ちます。

私自身も50歳を過ぎて野球指導の道へ進む挑戦をしました。

不安を抱えながらも「前を向く力」を信じた経験があるからこそ、子どもたちに伝えたいのです。

野球を通じて得られる仲間との協力、努力を続ける粘り強さ、感謝の心は一生の財産です。

松戸の未来を担う子どもたちを、どうか温かく見守ってください。



感謝のキャッチボール



深山 能一
松戸市議会議員

50年間、心のキャッチボールを育み続けてきた事で連盟の今が、君たちが存在しています。野球に出会い、心と身体と未来を耕し、何事にもフルスイングで挑戦してくれる事を願っています。いつも笑顔で、めざせ！心の甲子園！！おめでとうございます。



渋谷 剛士
松戸市議会議員

感謝の気持ちを忘れず、大好きな野球を一生懸命頑張ってください。皆さんが将来、松戸市の名前を全国に轟かせてくれることを楽しみにしています。野球が大好きなみんな、がんばれ！！



大橋 博
松戸市議会議員

一球一球に思いをこめて、失敗を恐れず何度でも挑戦し続けてください。応援してます！

丹呉 顕子
松戸市議会議員

50周年おめでとうございます！
心の底から「こうしたい！こうなりたい！」
と決意できたら、夢の半分は叶ったようなもの！
夢に向かって決めて動く、そして自分を信じてく
ださい。
頑張る皆さんを心から応援します。



大谷 茂範
松戸市議会議員

50周年おめでとうございます。
これからも仲間と共に成長し、夢・白球を精一
杯追いかけてください。
未来のスターたちの、わくわくするヒーロー
インタビューを期待しています！



長内 米蔵
松戸市野球協会 会長

松戸市少年軟式野球連盟が創立50周年を迎えら
れますことに、心よりお喜びを申し上げます。
創立以来野球を通じて少年・少女の育成を始
め、地域社会への貢献は大きく、深く感謝をい
たします。 これからも監督・指導者・選手皆
様が心身共に健康で日々の練習に励み、一層活
躍することを祈念いたします。



挑戦の舞台を支える仲間たち

松戸市の少年軟式野球は、地域の皆さまの温かい応援と、協賛社の皆さまの力強いご支援に支えられ、半世紀にわたる歴史を刻んできました。

そのご支援は、世代を超えて受け継がれる挑戦の舞台を守り続け、これからも、子どもたちが「野球をやって良かった」と心から感じられる瞬間を生み出していきます。



松戸公産株式会社

松戸公産株式会社は、松戸競輪場の運営を中心に、商業施設の管理や不動産賃貸などを展開しており、今年で創立76周年を迎えました。市の公営事業である松戸競輪は、当社が競輪場の賃貸を行い、運営を委託されています。その収益は、スポーツ、教育、地域振興など皆様の身近なところで活用されており、事業の公益性が高いことが当社の特徴です。地域密着の企業として松戸市の発展と皆様の暮らしに貢献し、より良い地域づくりを目指し続けます。

友遊ボール大会協賛

小学3年生以下のお子様と保護者が一緒に楽しめる野球イベント。特別なルールや道具で小さなお子様も安全に参加でき、誰もが笑顔で楽しめるところが魅力です。親子の絆を深め、地域の交流を深める場として、多くの家族に親しまれています。みんなで一緒にボールを追いかけて、スポーツを楽しむ心と、目標に向かって一生懸命頑張る力を育ていきましょう！

松戸競輪場：JR常磐線「北松戸駅」
西口徒歩3分
駐車場421台。



プチモールニツ木：国道6号線 二木
交差点。
JR常磐線「馬橋駅」東口徒歩15分。
駐車場323台。



Tokyo rusk



株式会社グランバー東京ラスク 代表取締役 大川浩嗣

私たちは、贈り物やおみやげとして親しまれている『東京ラスク』の製造・販売を手掛けています。

経営理念は『お客様の“心のおなか”をいっぱいにする仕事をします。』という言葉。真面目に、そして丁寧にお菓子づくりに向き合いラスクを通してお客様の「おいしい!」といった喜びの笑顔を創造しています。お客様の人生に寄り添い日本中を笑顔にするため、時代に求められる製品をこれからもお届けしてまいります。

友遊ボール大会協賛

野球は、挑戦する勇気と仲間を信じる力を育ててくれます。小さな努力の積み重ねが、大きな自信になります。笑顔を忘れず礼儀と感謝を胸に、あなたの夢を全力で追いかけてください。私たちグランバー東京ラスクも、お客様の”心のおなか”をいっぱいにするべくお菓子を通して地域に笑顔の輪を広げてまいります。仲間と共に高め合い、地域に愛される選手としてご活躍されることを楽しみにしています。

挑戦を支えるお店

東京ラスク矢切店
松戸市下矢切141-1スコットヒルズ1F
TEL：047-367-5445

本店：東京ラスク本郷本店
東京都文京区本郷3-27-15
TEL：03-5840-8845
<http://www.tokyorusk.co.jp>

Instagram
<https://www.instagram.com/tokyorusk/>



株式会社さかえ屋

創立50周年、誠におめでとうございます。

松戸に本社を構えるカステラ専門店「さかえ屋」は、笑顔をつなぐお菓子づくりを続けてまいりました。

カステラの甘い香りには、笑顔にする力があります。

グラウンドで白球を追いかける皆さんの姿にも、その同じ力を感じます。仲間を信じて力を合わせることに、あきらめずに挑戦すること。

その経験は、きっと将来の大きな宝物になるでしょう。

夢に向かって全力で走る皆さんを、心から応援しています。

取締役副社長 齋藤隼

友遊ボール大会協賛

株式会社さかえ屋は、カステラを作り続けて43年。

厳選された原料と、こだわりの製法で焼き上げたカステラで、世界中に笑顔を届けています。

スポーツの際の栄養補給に栄養満点なカステラをぜひご堪能ください。

挑戦を支えるお店

本社・二十世紀ヶ丘店

〒271-0086

千葉県松戸市二十世紀が丘萩町271

高塚店

〒270-2222

千葉県松戸市高塚新田166-1

マルエツ駐車場内

◆東京カステラパーク・成田工場

〒289-2306

千葉県香取郡多古町十余三371-219



株式会社ジェイコム千葉 地域コミュニケーション統括部

JCOMは、ケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイルなどの多彩なサービスを通じて、地域社会の充実と発展を支援しています。

また、地元の情報やイベントを発信する地域チャンネルなど、地域密着型の取組にも注力し、お客様一人ひとりのニーズに応えることで、安心・便利な暮らしをサポートします。

JCOMは、地域と共に歩み、つながりを大切にするパートナーとして、皆様の暮らしをより豊かにするお手伝いをいたします。

子供たちへのメッセージ

松戸市少年軟式野球連盟創立50周年おめでとうございます。

長い歴史を支えた仲間やご家族、地域の皆さんの温かい応援があってこそこの節目ですね。野球を通じて学ぶ友情、努力、礼儀は、みんなの未来を輝かせる力になります。仲間を信じて全力を尽くすその姿勢で、これからも大きな夢に向かって挑戦し続けてください。

努力を重ねる限り、成長は必ずついてきます。みんなのひたむきな姿が、未来に輝く一歩になることを心から応援しています。



株式会社ミートップ 肉匠源蔵 代表取締役 中村悟

八柱駅から徒歩3分。市場買参権をもつ卸問屋（株）ミートップが運営している精肉専門店「肉匠 源蔵」は、A5ランク牝牛の黒毛和牛を中心に松阪牛や山形牛等厳選されたブランド和牛の正規取扱店です。プロの目利きで仕入れる上質な肉は、贈答用としても最適。日常用ももちろんありご家庭の料理で使えばいつもの食卓がワンランク上の仕上がりになります。また、「肉匠 源蔵」ならではの新鮮国産ホルモンや、ローストビーフ、クリスマス用チキン、定番の惣菜、ブランド鳥の唐揚げやコロケも一味違い人気です。ぜひ一度ご来店ください。

低学年大会 卒業記念大会協賛

野球を通して学んだ元気・礼儀・感謝・探究心は、これからの人生においても必ず力になります。グラウンドに入るときの一礼、仲間への感謝、試合後の整列その一つひとつが、皆さんの成長の証です。卒業大会は、これまでの努力の集大成。勝ち負け以上に、元気に、礼儀正しく、全力でプレーする姿が何より輝いています。これからも、野球で培った心を胸に、自信を持って新たなステージへ進んでください。地域みんなで、これからの皆さんを応援しています。

メール会員募集！

gnz@wjwt.jp

メール会員（無料）に登録すると嬉しい特典情報が届きます！

QRコード、または上記アドレスにアクセスし、空メールをお送り下さい。





読売小金原センター店

私ども読売センター小金原も、地域の皆さまとともに歩み、子どもたちの健全な成長を応援できることを大変うれしく思っております。
本大会に参加される選手の皆さんが、日頃の練習の成果を存分に発揮され、忘れられない思い出となることを心から願っております。
結びに、大会のご成功と、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

卒業記念大会協賛 子供へのメッセージ

爽やかな秋空の下、「第50回松戸市少年野球大会 読売新聞旗争奪戦」が盛大に開催されますこと、心よりお祝い申し上げます。
本大会が50周年という大きな節目を迎えられましたことは、長年にわたりご尽力された大会関係者の皆さま、そして地域の皆さまの温かいご支援の賜物であり、深く敬意を表します。
未来ある子どもたちが、野球を通じて健やかな体を育み、仲間と協力し合うことの大切さを学ぶ場が半世紀にわたり続いてきたことは、地域の誇りであります。



SOMY'S DELI

SOMY'S DELIは、「食を通じて人々の暮らしを豊かにする」という理念のもと、安心・安全な食材と手作りの味わいを大切にしています。ドラマやイベント現場で高い評価を受け、ロケ弁当グランプリ優勝・大賞金賞受賞など数々の実績は、その理念の証です。地域の皆様の食卓に笑顔を届ける存在として、これからも品質向上と挑戦を続けてまいります。

卒業記念大会協賛

仲間と努力した日々は、子どもたちの大切な財産です。進学という新しい挑戦を迎える今、支えてくださった保護者の皆様の温かな応援に心より感謝申し上げます。これからも夢と希望を胸に、野球を通じて成長していく子どもたちを、協賛社として心から応援していきます。

挑戦を支えるお店

デリバリー専用電話
03-5876-3486
080-3523-0888

東京23区の外、神奈川県、千葉県、埼玉県を対象に、人気のおしゃれなものから、本格的な味付けのものまで様々な種類のお弁当・ロケ弁当の配達を行っています



松戸ユーカリライオンズクラブ 第41代会長 大谷茂範

松戸少年軟式野球連盟50周年おめでとうございます。

お陰様をもちまして松戸ユーカリライオンズクラブも今年で40周年を迎え、皆様と共に地域の発展を見守り続けることができました。

野球は、子どもたちに友情や協力の大切さを教えてくれます。
野球を通じて未来を担う若者たちが成長し、地域の絆が一層深まることを願っています。

これからも、共に素晴らしい思い出を築いていきましょう。
心からお祝い申し上げます。

日本で生まれたボールを未来へつなぐ。
SINCE 1934



**KEIKO
BALL**

(公財)全日本軟式野球連盟公認球

ナガセケンコー株式会社
www.nagase-kenko.com



ナガセケンコー株式会社

終戦後、厚生省のボール製造指定工場としてボール生産を再開。焼け跡の少年たちに楽しみの光明を灯した「野球」の底辺層を支えてきました。軟式野球、準硬式野球、ソフトテニス、ソフトボール等の公式試合用公認検定球に加え、さまざまな大会の協賛や支援を通じて国内スポーツの振興・発展に貢献すべく尽力し続けております。日本唯一のボール専用メーカーとして、今後もスポーツの愛好家の要望に応える、最高品質の製品を提供して参ります。

子供たちへ

心身ともに大きな成長を遂げる時期にある皆さんが、野球を通じ仲間と協力して取り組むことは、健全な心と体を育む上で大変意義深いことです。勉強と両立しながら一生懸命野球に取り組んだこの経験は、これから歩いてゆく人生において、かけがえのない財産になることでしょう。

指導をいただいている方々、応援してくださるご家族、仲間への感謝の気持ちを忘れずに笑顔あふれる皆さんをナガセケンコーはこれからも応援します。結びに、創立50周年の節目を迎えられました松戸市少年軟式野球連盟ますますのご発展をご祈念申し上げます。

野球が教えてくれたこと

早坂 響

高塚新田ラークス出身
千葉県立幕張総合高等学校野球部卒

2023年千葉ロッテマリーンズ ドラフト4位指名

僕の野球人生は松戸市から始まり、小学生の頃から野球を通して、たくさんの仲間や思い出に出会うことができました。その中で悔しい思いもたくさんしましたが、その経験があったからこそ今の自分があると思います。

子供たちにはどんな時も野球を楽しむ気持ちを忘れず、自分らしくプレーして欲しいと思っています。心から応援しています！



宮尾 日色

野菊野ファイターズ出身
専修大松戸高校 野球部

小学2年生から始めた野球。

きっかけは、兄が野球をやっていたから。

兄は、専修大松戸高校で甲子園ベスト8までいっていたので、兄と同じ舞台にたって兄の記録を超したいと思って、日々頑張っています。

少年野球の選手みなさんも目標をしっかりとって諦めずに頑張ってください。

小野 蓮

松戸KSカージナルス出身
浦和実業学園高校 野球部前主将

小学1年生からはじめた野球。最初はルールが全く分からず、ショートを守っていたのにファーストのボールにまで全力で追ってコーチ陣から『そこは捕りに行かなくていいぞー』と笑いながら注意されたほどでした。とにかく負けず嫌いで、練習試合でも負けたら大泣き、家に帰ってひたすら素振りと壁当てしてしていました。

やがて練習をすればするほど上手くなっていくのが嬉しくて、ゲームより自主練ばかりの毎日。

六年生の松戸選抜では9番レフト。県二位の成績で、市内の上手い選手たちとプレー出来た嬉しさと刺激をもらいました。学童時代は『継続力』と『勝負の厳しさ』を学びました。

中学は硬式チーム千葉沼南ヤングでプレーし、甲子園常連校からも複数の誘いを受けましたが、私はあえて甲子園未出場の浦和実業を選びました。

なぜか？自分が『初出場』の歴史を作れたらカッコいいじゃないですか。

夏休みに夢中で見ていた甲子園でプレーする！その想いで入学し新チームからは主将を務め『甲子園に出る』チームに変えていきました。秋季県大会では埼玉絶対王者の浦和学院を倒して県優勝、続く関東大会でベスト4。

そして第97回選抜高等学校野球大会に出場しました。

夏はあと一步のところまで逃しましたが、自分の代で甲子園初出場ベスト4という『夢の実現』と『有言実行』が出来たのは誇りに思っています。もちろん練習やチーム作りで大変な思いもしましたが、仲間が出来たことは私の宝物です。

みなさんはどんな選手になりたいですか？

色々な場面で大変だなと思った時こそ大きく変わるチャンスの時だと自分を信じ、決して諦めず野球と向き合ってください。

みなさんの『夢』と『目標』が叶うことを心から願っております。ぜひ、野球という素晴らしいスポーツを思う存分楽しんでください！



石崎 翔斗 松戸KSカーギナルス出身 専修大松戸高校 野球部

少年野球での小さな積み重ねが、今の僕の花になつています。野球をやっていれば、上手く行かないことも沢山あります。ですが、諦めずに続けることで必ず自信になります。

努力はすぐに結果に結びつかなくても、必ず自分を強くしてくれます。

少年野球のみなさんも、野球を楽しみながら、自分の夢に向かって挑戦し続けて頑張ってください。



富澤 諭吉 高塚新田ラークス出身 専修大松戸高校 野球部

小さい頃から、自分は野球を見ていて甲子園の舞台上で野球をしたいなと思っていました。

現在高校で、頭を使って野球をすることでは、自分はまだまだ足りないと感じています。少年野球の選手のみなさんは、自分の中で目標を持って人一倍努力をして頑張ってください。

柴田 樹

大橋みどりファイターズ出身
専修大松戸高校 野球部

小学3年生から始めた野球。

始めは遊びの延長のようですごく楽しかったです。中学生になり、だんだんとトレーニングや基礎練習の大切さがわかってきました。コツコツと積み上げることによりできることが増えて試合でもそれを生かすことができました。

今は、専修大松戸高校に入学し、憧れの甲子園に行くために仲間たちと一緒に頑張っています。みなさんも楽しみながら夢に向かって頑張ってください。



小俣 太陽

野菊野ファイターズ出身
専修大松戸高校 野球部

私が野球を始めたきっかけは友達に「野球やろうぜ!」と誘われたことです。

始めは、何もわからずデッドボールが頭に当たってもそのまま打席に残り笑われていました。

どんどん野球が楽しくなり、中学で松戸リトルシニアに入り専修大松戸高校に入学することを夢見て毎日素振りや羽打ち、シャドウピッチングをしていました。

今は甲子園のマウンドに立つために日々努力をしています。甲子園の舞台に立つには生半可な努力では叶いません。みなさんもそれぞれの夢に向かって日々、頑張ってください。



松戸市 少年軟式野球連盟 所属チーム





TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E	B	S	O	P	W	P	km/h
第50回																				
松戸市 少年軟式野球連盟 春季大会																				
市長杯争奪戦																				
開式																				
9:15																				
スポーツ協会長杯争奪戦																				





八柱サンジュニアーズ

1978年創立

優勝回数 0回

『個性が輝き、仲間とつながる』

それが、チームという絆。

松戸市の小学校や公園、そしてグラウンドに響く声。それが、少年野球の歴史の音。

私たちは、松戸市の未来を担う子供たちに『挑戦する楽しさ』『仲間と過ごす喜び』を伝えています。少年野球は、単なるスポーツではなく“地域と人をつなぐ文化”であると信じています。

八柱サンジュニアーズは昭和53年頃に設立された歴史をもつ少年野球チームになります。

野球をやる上で一番大切なチームワークを常に意識し、『明るく、楽しく、時には厳しく』をモットーにまず野球を楽しむことを大切にしています。また、卒団生の約90%以上は中学校で野球・ソフトボールを継続していて、高校野球以降も長い間野球を継続する選手が多いのも特徴のひとつです。

部員だけでなく、父・母、チームのみんなが明るく、フレンドリーな雰囲気なのが”サンジュニ”の特徴で、部員は『一人はみんなのために、みんなは一人のために』の全員野球を目指し、日々練習に励んでいます。

次の50年に向けて。

時代が変わっても、野球の楽しさ・面白さを伝え続けられるチームでありたいと思います。



根木内ヤングスターズ

1977年創立

優勝回数 2回

根木内ヤングスターズは創部48年になります。

松戸市スポーツ少年団として、松戸市少年軟式野球連盟に加盟して活動しております。

ホームグラウンドは、根木内小学校と小金原中央公園。現在、根木内小、小金小、幸谷小、栗ヶ沢小、貝の花小から団員数は30名、明るく楽しく元気な野球を通じイベントなど保護者の応援頂きながら活動しております。

高学年である5年生と6年生は、勝負の厳しさと野球技術ルールを学び、礼儀、感謝をわきまえた人間形成を図るとともに、4年以下は野球の楽しさと協調性を学び基礎練習をしています。

活動目標は、チームワークで明るく元気で楽しい野球通じて子供たちの健全育成に取り組んでいます。

今後も連盟、各チームと交流しながら選手、指導者、保護者、一緒になり運営活動して行きます。



高塚新田ラークス

2007年創立

優勝回数 8回

『県大会出場！』がチーム目標。

『良い時こそ謙虚に、悪い時ほど明るく』のスローガンのもとに、選手・指導者・保護者・OBが一丸となって活動しています。

また、初詣・BBQ・合宿・野球観戦・自治会祭り・納会等のイベント通じてチームの結束を深めています。

次の50年に向けては、今までのチームの伝統を守りつつ、新しい事にも挑戦し地域の皆様に応援して頂けるようなチームを目指していきたいです。

さらに、現役の選手に自身の子供や孫にも高塚新田ラークスで活動して欲しいと思ってもらえるようなチームになるよう、選手ファーストが何かを常に考えて活動していきます！



牧の原ジュニアーズ

1974年創立

優勝回数 **18回**

牧の原ジュニアーズは昭和49年創部で、牧野原小学校をホームグラウンドとして活動しています。

創部当初は部員も数多くいましたが、牧の原団地の高齢化と共に、部員が減少するのでは？と、心配しましたが、体験会などを積極的に行い現在は47名で活動をしています。

チームの基本方針は野球を通じての『子供達の健全な育成』で、挨拶においては、牧野原小学校の先生方や近隣の住民の皆様からも褒めてもらえるまで成長することができました。

4カテゴリ体制で、常時活動できるように、これからも野球大好き少年少女をドンドン増やしていきます。牧の原ジュニアーズの活動を通して、少年野球発展の手助けをしたいと思っています。

Futaba

双葉

1977年創立

優勝回数 **0回**

『双葉』は昭和52年に千葉県松戸市常盤平双葉町に創立され、子供達の笑顔があふれるチーム。

チーム方針は楽しく野球を学んでもらう事を最優先に指導を行っております。

- ①あいさつをすること！
- ②道具を大切にすること！
- ③仲間を大切にすること！

をいつもこども達に伝えております。野球を楽しむ事により、こどもとしての協調性、独立心を養っていく事が必要と考えています。

双葉チームで育ったこどもたちが、今度は大人になってコーチとなり、双葉で指導している現状は、チーム方針に間違いが無かったと確信しております。

やるからにはいつも優勝を目指して子供達と一生懸命に頑張っています。勝つ喜びもこどもたちの成長には必要なスパイスですから！



Central

セントラルパークス

1979年創立

優勝回数 16回

松戸市少年軟式野球連盟創設に遅れること4年の昭和54年4月に発足いたしました。

以来47年間新松戸及び馬橋地区の少年少女たちを中心に活動を通じ、野球を通じての連帯感を養い、明るく朗らかで健康的な子供たちの育成をモットーに、現在、監督・コーチ・マネージャー他多くのチームスタッフの協力のもと、30名以上の部員数で活動中です。

卒団生においては、これまでに5名のOBが甲子園の土を踏むことができ、プロ野球選手も誕生致しました。

これからも、元気で楽しく少年野球に取り組めるチームであり続けようように、一丸となってこれまで以上に頑張っていきたいと思っております。



新松戸リトルベアーズ

1977年創立

優勝回数 2回

私たちのチームは、「やってみたい！」という子どもたちの気持ちを全力で応援しています。

仲間と笑い合い、悔しさを乗り越え、時にぶつかり合う。その一つひとつの経験が、子どもたちを強く、たくましく育てていくと信じています。礼儀や技術の習得だけでなく、思いやりや自信、夢を追う力、そしてどんな壁にも挑む勇気を育みながら、礼節を大切にしています。

このチームでは、子どもたちだけでなく、OBや保護者、指導者、地域の皆さまが一丸となり、熱い声援と温かい支えで挑戦を後押ししています。

一人ひとりが「やる気・元気・勇気」を胸に、自分を超越る瞬間を迎えられるよう、私たちは全力で応援しています。

松戸の野球文化を未来へつなぐ旗印として、練習や試合を通じて、共に成長の喜びを重ね、子どもたちの夢と笑顔を広げながら『熱く・強く』前へ進み続けます。



五香メッツ

1979年創立

優勝回数 1回

連盟創立50周年、誠におめでとうございます。弊チームも、創団46年の歴史を歩んでまいりました。

当時の松飛台地区だけでも数多くのチームが存在していたと聞きます。

現状、少子化、野球離れ等で、チームの存続が危うい時代ですが、野球を通じて勝ち負けのみではなく、挨拶、礼儀等、社会性を育む子供たちを形成していくことをチームの目標としております。

近年では、現在大学1年生、高校3年生の選手達が、五香メッツ最強時代を築いてもらいました。

私、筆者は、当時のチームとは無関係でしたが、当店舗を打ち上げ会場として提供していた為、当時のコーチや選手達が『優勝しました〜！』と店に入ってきたことを思い出します。

この先50年、この子供達が野球のみならず、色々な分野で活躍してくれることを願って応援しております。



ベースボールクラブ大和

2011年創立

優勝回数 0回

ベースボールクラブ大和です。

私達は野球を通して得た経験や知識を、将来の生活に有意義に活用できる人になれるように、厳しい練習を行っています。

挨拶や言葉使いを重要と考えて、「己に厳しく人に優しく」をチームスローガンに掲げ、本年設立14年を向かえる事ができました。

これからもチームスローガンのもと、クラブ員・クラブスタッフ一丸となり、活動趣旨達成をめざしてまいります。



小金原ビクトリー

1970年創立

優勝回数 37回

松戸市少年野球連盟が創立50年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

小金原ビクトリーも連盟と共に歩み、創部55周年を迎えました。

時代の変化と共に野球人口の減少もある中で、今日まで継続できた事は地域の皆様のご協力と、野球という楽しいスポーツに参加して頂いた全ての方々のおかげであると心から感謝しております。

小金原ビクトリーには

『日本一の全力疾走』

『日本一のカバーリング』

『日本一の声出し』

という3つのチームスローガンがあります。野球を通して社会で生活していく上での大切なことを学び、さらに周りへの気遣い出来る人間になれるよう日々の練習から取組んでおります。今後も地域貢献と子供達の育成に尽力致します。

終わりに松戸市少年野球連盟の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念いたします。



松戸KSカージナルス

2017年創立

優勝回数 1回

松戸KSカージナルスは、伝統と実績豊富な「松戸カージナルス（昭和61年8月結成）」と「串崎スワローズ（昭和57年5月結成）」が統合し、2017年4月に結成されたチームです。ホームグラウンドは、松飛台小学校・金ヶ作公園の2箇所あり、恵まれた環境の中で練習に励んでいます。

結成以来、『野球を通じて、人にやさしく・自分に厳しく、努力と忍耐力を鍛える』をモットーに、一人ひとりが自身の土台を築く基礎を学び、感謝の心を育ていけるよう、監督・コーチ、保護者の皆様に協力を得ながら取り組んでいます。

これからも『勝つ喜び・負ける悔しさ』を共に分かち合いながら、子ども達に少年野球の素晴らしさ、感動を伝えていきます。



常盤平ボーイズ

1975年創立

優勝回数 30回

常盤平第三小学校の子供達を主体として、松戸市少年軟式野球連盟とほぼ同時期に創立し、お陰様で今年度節目の50周年を迎えることができました。

常盤平地域の少子化の影響で近年では市内を中心に、約30校の小学校から集まるようになり総勢60名の大所帯となりました。

野球の技術はもちろん、礼儀や協調性など、人として大切なことを学べる場を目指しています。

初心者も大歓迎で、「野球を楽しむ」をモットーに打つ事の楽しさを知り、仲間と楽しく多くの試合を経験することができます。

創立からこれまで、多くの子どもたちが巣立っていき、その子たちが成長し大きくなってコーチとして地域に戻ってきているのも当チームの特徴です。これからも地域に根ざし、夢を追って挑戦する子どもたちを応援し続けます。



大橋みどりファイターズ

1975年創立

優勝回数 5回

『軟式野球をやりたい』という子供達の声が、子供好きで子供の非行化を人一倍、心配していた一人の熱心な指導者の耳に入り、大橋みどりファイターズは、この指導者の呼びかけにより、1975年9月二十世紀梨の故郷の大橋に誕生しました。

現在は、この教えを守りながら、練習はもちろんのこと野球を通して「仲間」「挨拶」「自主管理」を主に教育し、野球に関われる喜びを感謝し、日々子供たちと一緒に楽しみながら練習に励んでおります。

小学野球だけではなく、今後繋がる未来への取り組みの為に自主性を意識して、個々に発言が出来る環境作りを心掛けております。1人1人の思いを汲み取り真剣に相対せば、野球への情熱も燃やしてくれると信じて指導しています。

「元気よく」「あいさつ」「感謝」「思いやり」「全力」「フェアプレー」がチームのスローガンです！



野菊野ファイターズ

1976年創立

優勝回数 **5回**

松戸市少年軟式野球連盟創立50周年
誠におめでとうございます。

野菊野ファイターズは、野球の技術はもちろん、組織の一員としてのマナーや協調性を身につけること、更には強い闘争心を育むことを重要なテーマとして活動しているチームです。

目標(夢)は追いつけて行きますが、決して勝つことだけに執着はしません。野球を通じて、強く健全な精神を育むことこそ、最も意義あることと考えております。

"ひとつ上、ひとつ先、ひとつ前"

をスローガンに掲げ、高みを目指し、先を見据えて、事前に行動できる子どもの育成と親子で共有できる時間を大切にすることを方針に、今後も松戸市の少年野球発展に寄与していきたいと考えています。



矢切コンドルス

1977年創立

優勝回数 **0回**

矢切の河川敷に2面の専用グラウンドを持つ、少年軟式野球チーム。

■ 矢切コンドルスの3つの約束

1. 「楽しい！」が一番のエネルギー
自ら上達したいと思う探究心を育てます。
2. 「褒めて伸ばす」ポジティブ野球
ミスを責めず挑戦を称え、互いの良さを褒め合う精神を育みます。
3. 初心者からエースへ！丁寧なステップアップ

「できた！」の瞬間を一緒に喜び、野球の楽しさを広げていきます。

これまでチームの歴史を繋いでくれた先輩方への感謝を胸に、矢切コンドルスは次の50年へと走り出しました。目指すのは、ただ強いだけのチームではありません。

「どんな時も勝利に向かって、最高の笑顔でプレーするチーム」。今後も松戸市少年軟式野球連盟とともに少年野球の普及に尽力してまいります。

松戸市少年軟式野球連盟大会

歴代優勝・準優勝チーム一覧（本戦）

年度	回数	春季大会			夏季大会			秋季大会			卒業記念大会		
		優勝	準優勝	参加チーム	優勝	準優勝	参加チーム	優勝	準優勝	参加チーム	優勝	準優勝	参加チーム
昭和51年	第1回			16				①六実ヒッターズ	松飛台ウーガース	9			
昭和52年	第2回	①カワボ-イズ	松飛台ウーガース	16	①高塚新田	松飛台ウーガース	10	①高塚新田	カワボ-イズ	11	①小金原ピクトリー	高塚新田	12
昭和53年	第3回	②カワボ-イズ	牧の原ジュニアーズ	26	①小金原ピクトリー	松飛台ウーガース	18	①松飛台ベシエンツ	小金原ピクトリー	18	②小金原ピクトリー	松チーム	26
昭和54年	第4回	①キングスターズ	松飛台ウーガース	35	①牧の原ジュニアーズ	キングスターズ		①小金原ピクトリー	カワボ-イズ	25	①常盤平ボ-イズ	松チーム	30
昭和55年	第5回	①秋山子供会	牧の原ジュニアーズ	29	①元山タイガース	キングスターズ		①キングスターズ	小金原ピクトリー	30	①松飛台ファイターズ	キングスターズ	33
昭和56年	第6回	①小金原ピクトリー	東部ジャガーズ	30	②小金原ピクトリー	牧の原ジュニアーズ	16	①牧の原ジュニアーズ	小金原ピクトリー	29	③小金原ピクトリー	牧の原ジュニアーズ	32
昭和57年	第7回	②小金原ピクトリー	牧の原ジュニアーズ	31	①小金原ピクトリー	牧の原ジュニアーズ	29	②牧の原ジュニアーズ	松飛台ファイターズ	30	④小金原ピクトリー	元山タイガース	36
昭和58年	第8回	③小金原ピクトリー	牧の原ジュニアーズ	30	④小金原ピクトリー	小金原イーグルス	25	①元山タイガース	松飛台ファイターズ	34	⑤小金原ピクトリー	カワボ-イズ	35
昭和59年	第9回	①元山タイガース	牧の原ジュニアーズ	33	①小金原イーグルス	松飛台ファイターズ	16	①小金原イーグルス	松飛台クラウンズ	29	⑥小金原ピクトリー	牧の原ジュニアーズ	34
昭和60年	第10回	④小金原ピクトリー	矢切コンドルス	41	②牧の原ジュニアーズ	小金原イーグルス		②元山タイガース	小金原イーグルス	33	①牧の原ジュニアーズ	大橋みどりファイターズ	33
昭和61年	第11回	①小金原イーグルス	松飛台クラウンズ	37	③小金原イーグルス	にしばフェニックス		②小金原イーグルス	小金ブルーエンジェルズ	31	①にしばフェニックス	五香メツ	34
昭和62年	第12回	⑤小金原ピクトリー	にしばフェニックス	30	①大橋みどりファイターズ	にしばフェニックス		①小金原ライオンズ	リトルベアーズ	31	①小金原イーグルス	にしばフェニックス	33
昭和63年	第13回	⑥小金原ピクトリー	高塚新田	29	①串崎スワローズ	双葉	19	①串崎スワローズ	小金原ピクトリー	31	②牧の原ジュニアーズ	小金原ピクトリー	32
平成元年	第14回	⑦小金原ピクトリー	串崎スワローズ	32	②牧の原ジュニアーズ	小金原ピクトリー	18	②小金原ピクトリー	七級野ガガース	30	①小金ブルーエンジェルズ	牧の原ジュニアーズ	36
平成2年	第15回	①松飛台ベシエンツ	高塚新田	30	②高塚新田	小金ブルーエンジェルズ	14	②高塚新田	小金原ピクトリー	32	①高塚新田	小金ブルーエンジェルズ	34
平成3年	第16回	①牧の原ジュニアーズ	串崎スワローズ	29	⑤小金原ピクトリー	小金ブルーエンジェルズ	15	③牧の原ジュニアーズ	小金原ピクトリー	32	③牧の原ジュニアーズ	矢切コンドルス	32
平成4年	第17回	⑥小金原ピクトリー	牧の原ジュニアーズ	25	⑥小金原ピクトリー	牧の原ジュニアーズ	13	③小金原ピクトリー	串崎スワローズ	29	⑦小金原ピクトリー	牧の原ジュニアーズ	29
平成5年	第18回	①リトルベアーズ	小金原ピクトリー	23	④牧の原ジュニアーズ	小金原ピクトリー		④牧の原ジュニアーズ	串崎スワローズ	24	⑥小金原ピクトリー	小金原イーグルス	27
平成6年	第19回	①セントラルパークス	にしばフェニックス	26				⑤セントラルパークス	セントラルパークス	25	④牧の原ジュニアーズ	セントラルパークス	28
平成7年	第20回	②リトルベアーズ	大橋みどりファイターズ	21				④小金原ピクトリー	セントラルパークス	26	①八幡台ジュニアーズ	リトルベアーズ	26
平成8年	第21回	③小金原ピクトリー	常盤平ボ-イズ	23				⑤小金原ピクトリー	常盤平ボ-イズ	24	⑤小金原ピクトリー	牧の原ジュニアーズ	27
平成9年	第22回	④小金原ピクトリー	にしばフェニックス	22				②串崎スワローズ	にしばフェニックス	24	②東部ジャガーズ	矢切コンドルス	24
平成10年	第23回	①串崎スワローズ	牧の原ジュニアーズ	20				⑥小金原ピクトリー	セントラルパークス	24	②八幡台ジュニアーズ	串崎スワローズ	24
平成11年	第24回	②牧の原ジュニアーズ	八幡台ジュニアーズ	20				⑥牧の原ジュニアーズ	八幡台ジュニアーズ	22	①串崎スワローズ	牧の原ジュニアーズ	23
平成12年	第25回	③牧の原ジュニアーズ	高塚ラークス	20				⑦小金原ピクトリー	高塚ラークス	21	②高塚ラークス	牧の原ジュニアーズ	22
平成13年	第26回	④牧の原ジュニアーズ	常盤平ボ-イズ	18				①セントラルパークス	牧の原ジュニアーズ	22	①セントラルパークス	常盤平ボ-イズ	21
平成14年	第27回	②セントラルパークス	串崎スワローズ	18				③串崎スワローズ	常盤平ボ-イズ	19	①松戸カージナルス	牧の原ジュニアーズ	19
平成15年	第28回	③セントラルパークス	リトルベアーズ	19				②セントラルパークス	串崎スワローズ	18	②セントラルパークス	串崎スワローズ	20
平成16年	第29回	④セントラルパークス	小金原ピクトリー	19				④串崎スワローズ	ヤングスターズ	20	③常盤平ボ-イズ	高塚ラークス	19
平成17年	第30回	①五香メツ	高塚ラークス	18				①常盤平ボ-イズ	高塚ラークス	19	③常盤平ボ-イズ	高塚ラークス	20
平成18年	第31回	⑤セントラルパークス	五香メツ	17				③セントラルパークス	五香メツ	20	①ヤングスターズ	セントラルパークス	19
平成19年	第32回	①高塚新田ラークス	セントラルパークス	20				①ヤングスターズ	大橋みどりファイターズ	19	②串崎スワローズ	大橋みどりファイターズ	19
平成20年	第33回	②串崎スワローズ	セントラルパークス	20				①高塚新田ラークス	常盤平ボ-イズ	20	④常盤平ボ-イズ	セントラルパークス	19
平成21年	第34回	③小金原ピクトリー	セントラルパークス	20				⑥小金原ピクトリー	串崎スワローズ	20	⑤小金原ピクトリー	ヤングスターズ	19
平成22年	第35回	①常盤平ボ-イズ	串崎スワローズ	19				④セントラルパークス	串崎スワローズ	20	⑦小金原ピクトリー	串崎スワローズ	20
平成23年	第36回	⑥セントラルパークス	串崎スワローズ	19				⑤串崎スワローズ	高塚新田ラークス	19	⑤常盤平ボ-イズ	串崎スワローズ	19
平成24年	第37回	①大橋みどりファイターズ	常盤平ボ-イズ	19				②常盤平ボ-イズ	大橋みどりファイターズ	19	⑥常盤平ボ-イズ	大橋みどりファイターズ	19
平成25年	第38回	⑦セントラルパークス	常盤平ボ-イズ	19				③常盤平ボ-イズ	串崎スワローズ	18	⑦常盤平ボ-イズ	串崎スワローズ	19
平成26年	第39回	②常盤平ボ-イズ	大橋みどりファイターズ	17				④常盤平ボ-イズ	五香メツ	19	⑧常盤平ボ-イズ	松戸スラッガーズ	20
平成27年	第40回	⑧小金原ピクトリー	常盤平ボ-イズ	18				①野菊野ファイターズ	常盤平ボ-イズ	17	①野菊野ファイターズ	常盤平ボ-イズ	18
平成28年	第41回	②大橋みどりファイターズ	松戸スラッガーズ	16				②野菊野ファイターズ	松戸スラッガーズ	19	①大橋みどりファイターズ	松戸カージナルス	18
平成29年	第42回	①野菊野ファイターズ	松戸スラッガーズ	16				⑤常盤平ボ-イズ	セントラルパークス	16	③高塚新田ラークス	双葉	17
平成30年	第43回	⑥セントラルパークス	常盤平ボ-イズ	17				⑤セントラルパークス	小金原ピクトリー	15	③セントラルパークス	常盤平ボ-イズ	15
平成31年	第44回	③常盤平ボ-イズ	野菊野ファイターズ	15				⑥常盤平ボ-イズ	野菊野ファイターズ	16	⑧常盤平ボ-イズ	松戸KSカージナルス	16
令和2年	第45回	開催中止		12				③野菊野ファイターズ	常盤平ボ-イズ	15	⑧常盤平ボ-イズ	野菊野ファイターズ	14
令和3年	第46回	①大橋みどりファイターズ	野菊野ファイターズ	13				⑦常盤平ボ-イズ	大橋みどりファイターズ	14	④高塚新田ラークス	大橋みどりファイターズ	14
令和4年	第47回	④常盤平ボ-イズ	野菊野ファイターズ	15				⑧常盤平ボ-イズ	大橋みどりファイターズ	15	②大橋みどりファイターズ	常盤平ボ-イズ	15
令和5年	第48回	⑤常盤平ボ-イズ	大橋みどりファイターズ	14				⑨常盤平ボ-イズ	大橋みどりファイターズ	15	⑨常盤平ボ-イズ	セントラルパークス	15
令和6年	第49回	⑥常盤平ボ-イズ	大橋みどりファイターズ	13				⑩常盤平ボ-イズ	大橋みどりファイターズ	14	⑩常盤平ボ-イズ	大橋みどりファイターズ	14
令和7年	第50回	⑦常盤平ボ-イズ	大橋みどりファイターズ	14				⑩常盤平ボ-イズ	大橋みどりファイターズ	14	⑩常盤平ボ-イズ	セントラルパークス	14

松戸市少年軟式野球連盟大会

歴代優勝・準優勝チーム一覧（低学年大会）

		ロッテ旗松戸予選		
年度	回数	優勝	準優勝	参加チーム
平成15年	第1回	①リトルベアーズ	常盤平ボーイズ	
平成16年	第2回	①セントラルパークス	根木内ヤングスターズ	12
平成17年	第3回	①常盤平ボーイズ	小金原ビクトリー	16
平成18年	第4回	②常盤平ボーイズ	ヤングスターズ	14
平成19年	第5回	①小金原ビクトリー	セントラルパークス	17
平成20年	第6回	③常盤平ボーイズ	セントラルパークス	17
平成21年	第7回	①小金ブルーエンジェルス	常盤平ボーイズ	18
平成22年	第8回	①野菊野ファイターズ	松戸カージナルス	18
平成23年	第9回	④常盤平ボーイズ	高塚新田ラークス	16
平成24年	第10回	②小金原ビクトリー	常盤平ボーイズ	16
平成25年	第11回	②セントラルパークス	高塚新田ラークス	16
平成26年	第12回	⑤常盤平ボーイズ	野菊野ファイターズ	13
平成27年	第13回	⑥常盤平ボーイズ	野菊野ファイターズ	12
平成28年	第14回	③セントラルパークス	野菊野ファイターズ	14
平成29年	第15回	⑦常盤平ボーイズ	大橋みどりファイターズ	15
平成30年	第16回	⑧常盤平ボーイズ	五香メッツ	13

		ナガセ・ケンコー旗争奪低学年大会		
年度	回数	優勝	準優勝	参加チーム
令和元年	第1回	⑨常盤平ボーイズ	野菊野ファイターズ	12
令和2年	第2回	開催中止		
令和3年	第3回	⑩常盤平ボーイズ	セントラルパークス	11
令和4年	第4回	⑪常盤平ボーイズ	野菊野ファイターズ	13
令和5年	第5回	④セントラルパークス	常盤平ボーイズ	13
令和6年	第6回	①野菊野・高塚新田連合	大橋みどりファイターズ	12
令和7年	第7回	⑫常盤平ボーイズ	大橋みどりファイターズ	11

阪神タイガース 和田 豊

お祝いのことば



この度、松戸市少年軟式野球連盟様が創立50周年を迎えられたことを、心よりお祝い申し上げます。これまで半世紀にわたり、地域の野球振興に大きく貢献されてきたことに敬服の念を持って深く感謝いたします。

50年前、私は松戸市立常盤平中学校で軟式野球部に入り、現在に至る野球の基礎を築いていました。それ以前は常盤平第一小学校に通い、当時盛んだったソフトボールと剣道を掛け持ちして練習に明け暮れる日々でした。その頃の、野球が大好きだった父親とのキャッチボールが私の野球の原点であり、そういう時代を過ごした松戸は野球の故郷ともいえる大切な場所です。

近年は少子化などによる「野球離れ」が進み、選手人口やチーム数の減少が憂慮されています。プロ野球界でもそういう現実に対処すべく、野球の裾野を広げるための活動に力を入れているところですが、まずは子どもたちに野球の楽しさを知ってもらい原点として、貴連盟の活動はこれからも大変重要なものとなってくるとでしょう。

「甲子園に出たい！」

「プロ野球選手になりたい！」

子どもたちにそう思ってもらえるような野球界にすることは私たちの使命です。

そのための入り口は、ソフトボールであろうが軟式野球、硬式野球であろうが関係はありません。また貴連盟が結成された「オレンジールズ」のように、女子野球も含めた野球界全体の未来のために、今後ともよろしく願いいたします。益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



Orangeals



オレンジールズ

松戸市少年軟式野球連盟が創立50周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。この半世紀の歩みは、子どもたちの笑顔と挑戦を地域全体で支えてきた、かけがえのない歴史です。2018年に、私たち女子選抜チーム「オレンジールズ」が誕生しました。

6年生から1年生まで、野球を心から愛する女子選手たちが集まり、仲間とともに夢に向かって走り続けています。チーム名「オレンジールズ (Orangeals)」には、“太陽のように丸く・明るく・豊かに・笑顔で元気に”という願いと、熱意を意味する「ジール (zeal)」が込められています。力強さの中にあるしなやかさ、学年を超えて野球を楽しむ姿は、私たち大人にとっても大きな感動と誇りです。

少子化の影響で、チーム存続や選手数の確保が課題となる時代ですが、子どもたちが野球を通じて学ぶ「仲間と支え合う力」「夢に挑む勇氣」は、これからの人生を豊かにする宝物。

私たち保護者も、温かい声援と支えを通じてその挑戦を後押しし、松戸市少年軟式野球連盟と女子野球のさらなる発展を共に願っていきたいと思います。

未来へとつながる子供たちの夢と笑顔を、これからも地域全体で守り育ててまいりましょう。



松戸整形外科病院

安全で最高の整形外科医療を提供する

外来受付 月～金

午前:8:20 - 11:30 / 午後:14:00 - 17:00

〒271-0043 千葉県松戸市旭町1-161

馬橋高校近く。シャトルバスは、馬橋駅西口
ステーションモール1階魚民前

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
8:20 - 11:30	●	●	●	●	●	休診	休診
14:00 - 17:00	●	●	●	●	●	休診	休診

50周年おめでとうございます。50年という言葉に重みを感じます。自分も、自分の子どもたちも野球に鍛えられ、そして育てられました。微力ではありますが、そのご恩を返せるようにと思い肘検診の活動を行っております。今後ともよろしく願いいたします。



本記念誌の編集にあたり、50年という半世紀の歩みの重みを改めて実感いたしました。創立当初より、地域の子どもたちに野球の楽しさを伝え、健全な成長を支えてこられた多くの指導者、保護者、そして何より選手たちの情熱が現在の連盟を築いてきたのだと、資料を読み返すたびに強く感じました。

時代は変わっても、白球を追う子供たちのまなざしは変わりません。野球を通じて育まれる友情、努力、挑戦する力は、これからも次の世代へ受け継がれていくことでしょう。

本誌が、その歩みを振り返る一助となり、未来への道しるべとなれば幸いです。

最後に、編集にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。連盟のさらなる発展と、子どもたちの輝かしい成長を願って、編集後記といたします。

創立50周年記念事業準備委員会
松戸市少年軟式野球連盟会長 上野公也

総括責任者会長	上野 公也
実行委員長 副会長	柴田 清光
実行副委員長 副会長	杉町 好男
実行委員 副会長	高田 茂
実行委員 理事長	佐久間 昭夫
実行委員 副理事長	富田 直史
実行委員 副理事長	秋葉 幸浩
実行委員 事務局長	宮崎 俊哉
実行委員 事務局長補佐	金井 浩史
実行委員 財務部長	山本 茂樹
実行委員 審判部長	玉野 一徳
実行委員 事業部長	我妻 和憲
記念誌制作委員長	三十日 正幸
記念誌制作委員	桑田 あずさ
記念誌制作委員	菊池 直美
記念誌制作委員	東 舞
記念誌制作委員	興津 繁

